

TOY STREET

敷地

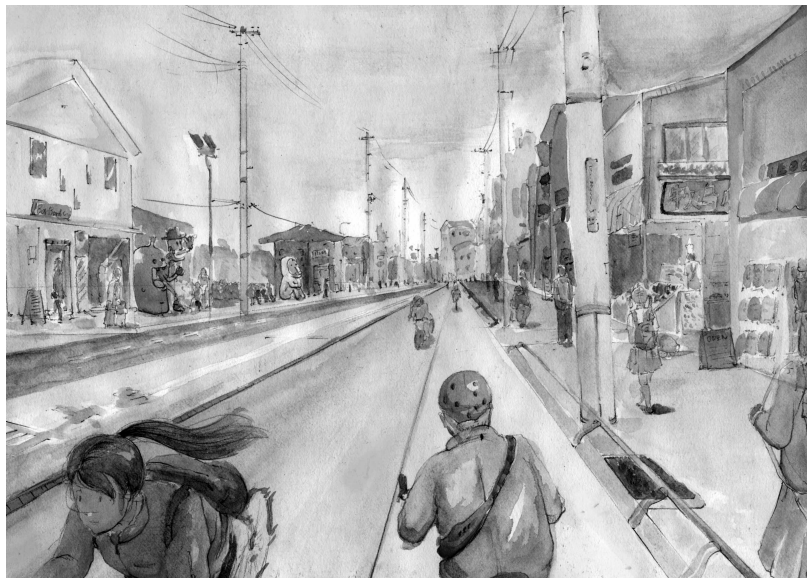
栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち

コンセプト

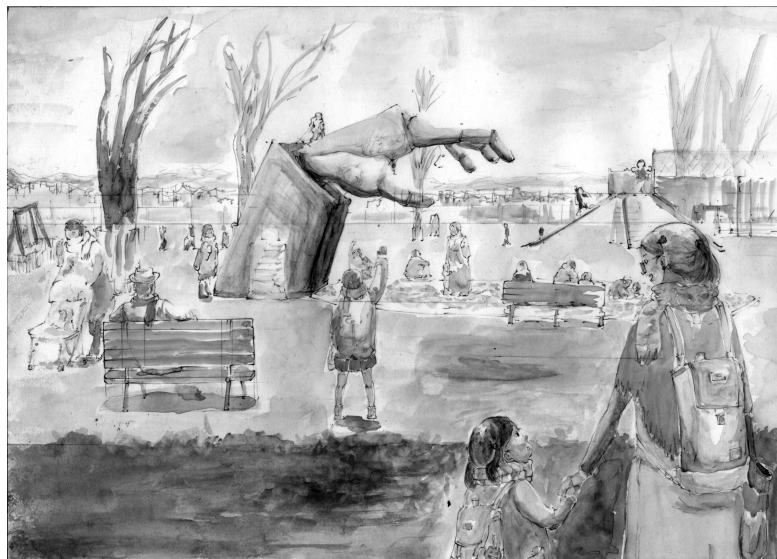
玩具の製造で栄えた町のまちおこしを「おもちゃ」をテーマに行うのは当然ですが、それでは多くの自然が残るこの町の美しさを無視してしまいます。そこで、この町の持つ「自然の美しさ」と「おもちゃの楽しさ」の両方をアピールするための計画です、サイクリングロードと4つの建築で動線を操作し町全体を巡らせることで、町そのものの良さを魅せつつ町全体を盛り上げるこのできるまちおこしになります。

プログラム

町全体を大きく囲むサイクリングロードは長方形になっており、東側の辺は姿川の土手を走り川沿いでサイクリングを楽しむエリア、北側の辺は蔵を持つ民家や磐裂根裂神社など落ち着いた雰囲気のある田舎らしさを楽しむエリア、西側の辺は両側を森に囲まれた延々続く田畑で町と切り離れた空間を楽しむエリア、南側の辺は町の中心を通りおもちゃの商店街やバンダイミュージアムもある玩具を楽しむエリアとなっている。

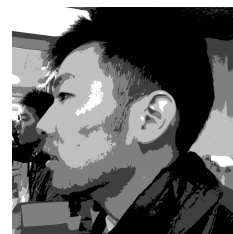
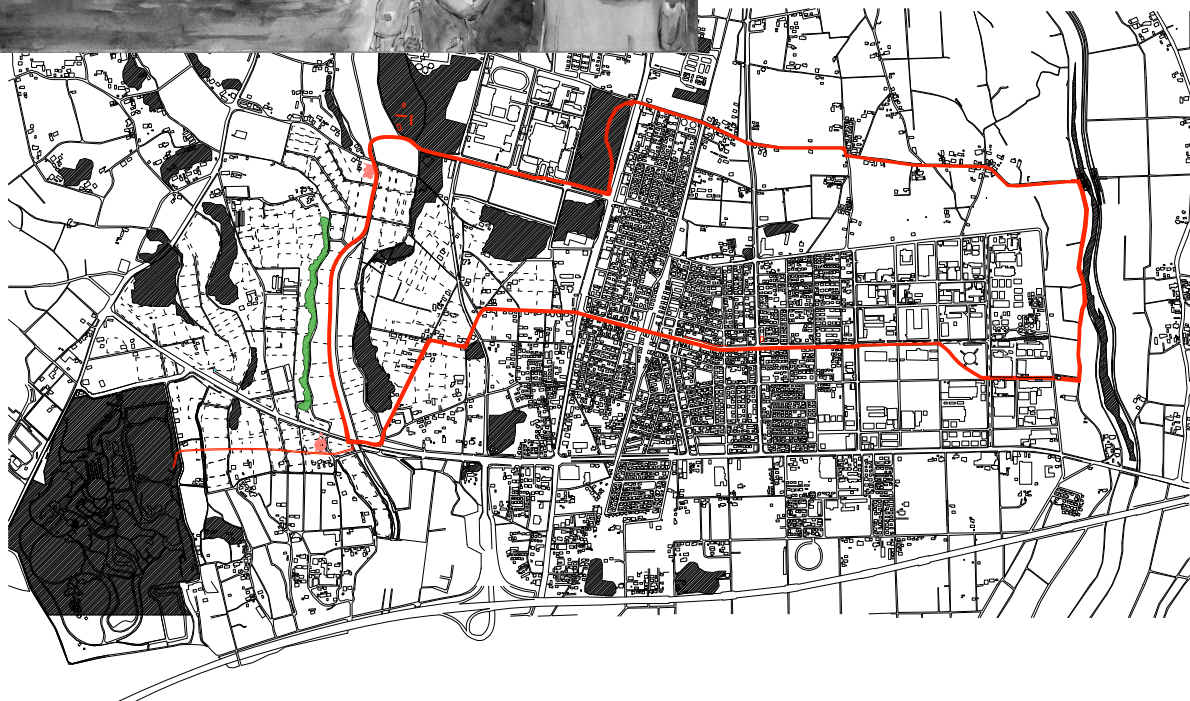


▼おもちゃのモニュメントのある公園イメージ ▲おもちゃの商店街とサイクリングロードイメージ



デザイン

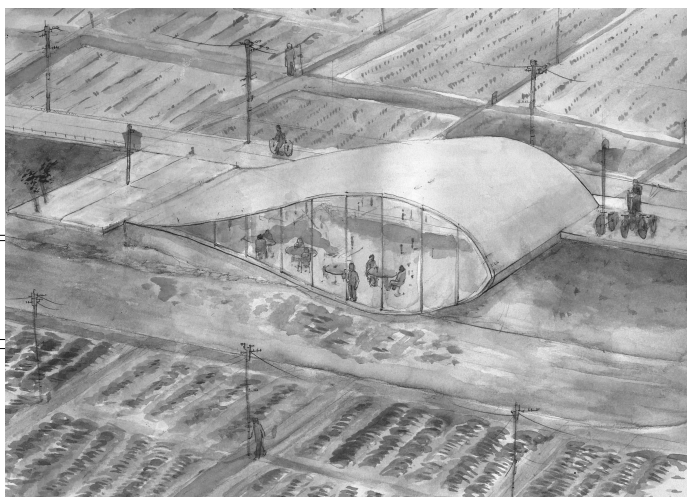
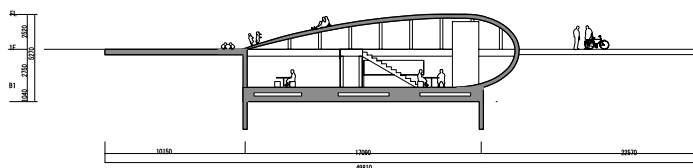
長方形の4つの角に建てられる4つの建築は、東北の姿川の土手に水面ぎりぎりまで近づける「川」のカフェ、北西の隔離された田畑の真ん中に「大地」のレストラン、南西の高くなった台地に「空」の展望台、東南のおもちゃ商店街を通りバンダイミュージアムの隣に「おもちゃ」のサポートセンター、とそれぞれのエリアに対応してそれをアピールする建築になっています。



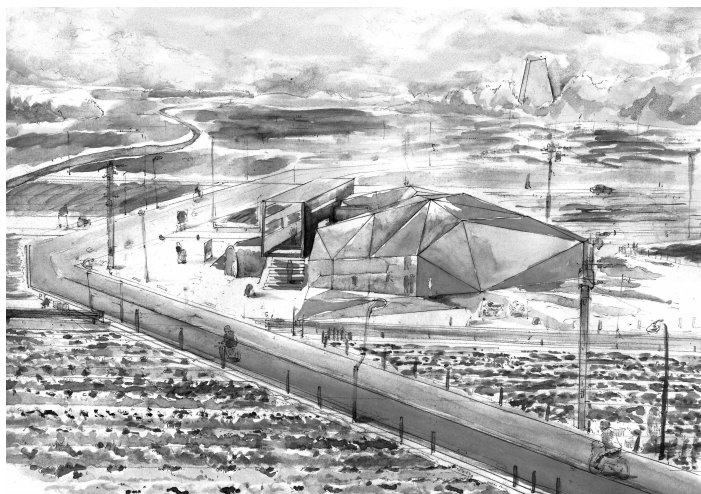
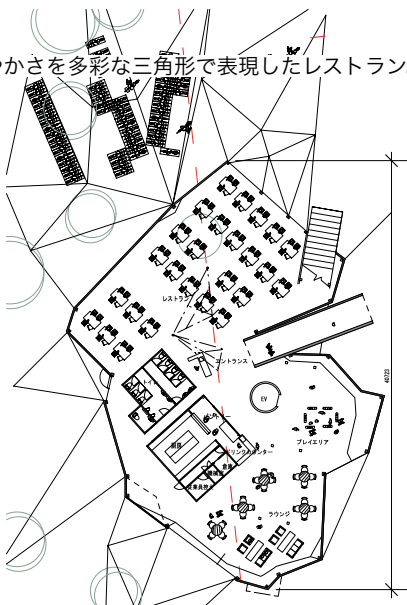
牧島 瞬

建築設計計画研究室

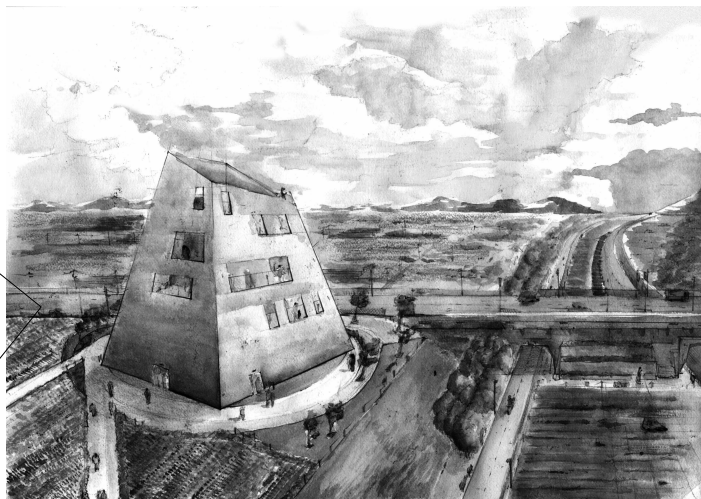
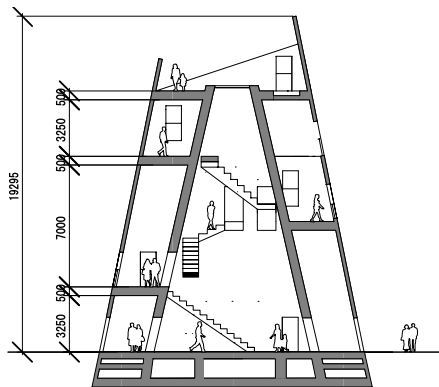
眼前の水面と反射した光が映る天井で川を楽しむカフェ。



大地の鮮やかさを多彩な三角形で表現したレストラン。



美術館のように景色を楽しみ、頂上から町を見渡す展望台。



中央の工房スペースで玩具の修理やワークショップを行うおもちゃのサポートセンター。

